

長野県御代田町

No.113

平成30年
9月定例会
2018

みよた 議会 だより

「可愛く、凛々しく、たくましく」 杉の子幼稚園運動会

主な内容

平成29年度決算 ……………P2

『町民と議会の語る会』
を開催します ……P6

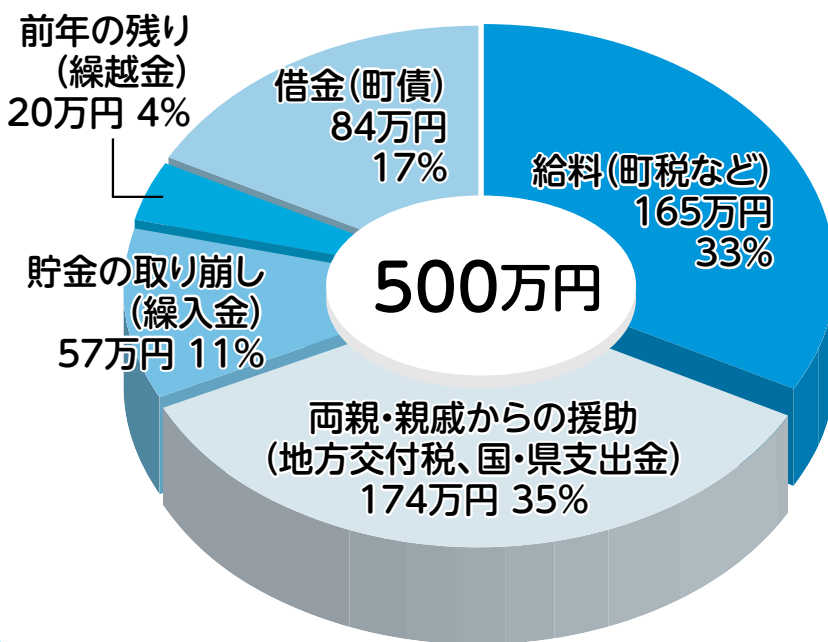
議員が町政を問う ……………P8～16

研修報告 ……………P17



平成29年度の収入を 500万円の家計におきかえると？

収入



特別会計

国民健康保険

- ① 21億4,189万円
- ② 17億9,573万円

介護保険

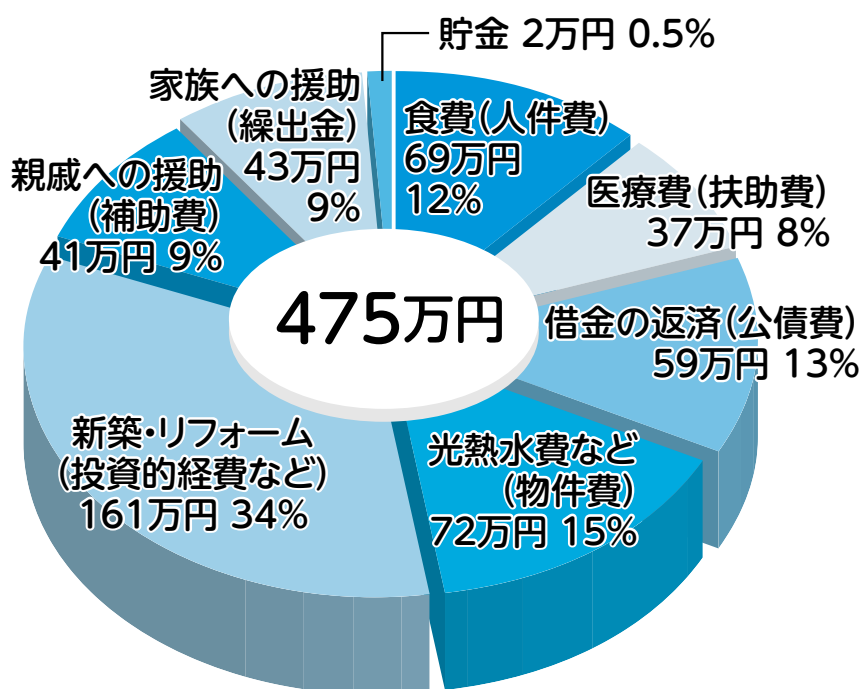
- ① 10億9,398万円
- ② 10億6,145万円

公共下水道

- ① 6億8,081万円
- ② 6億7,661万円

他に、7つの特別会計などがあります

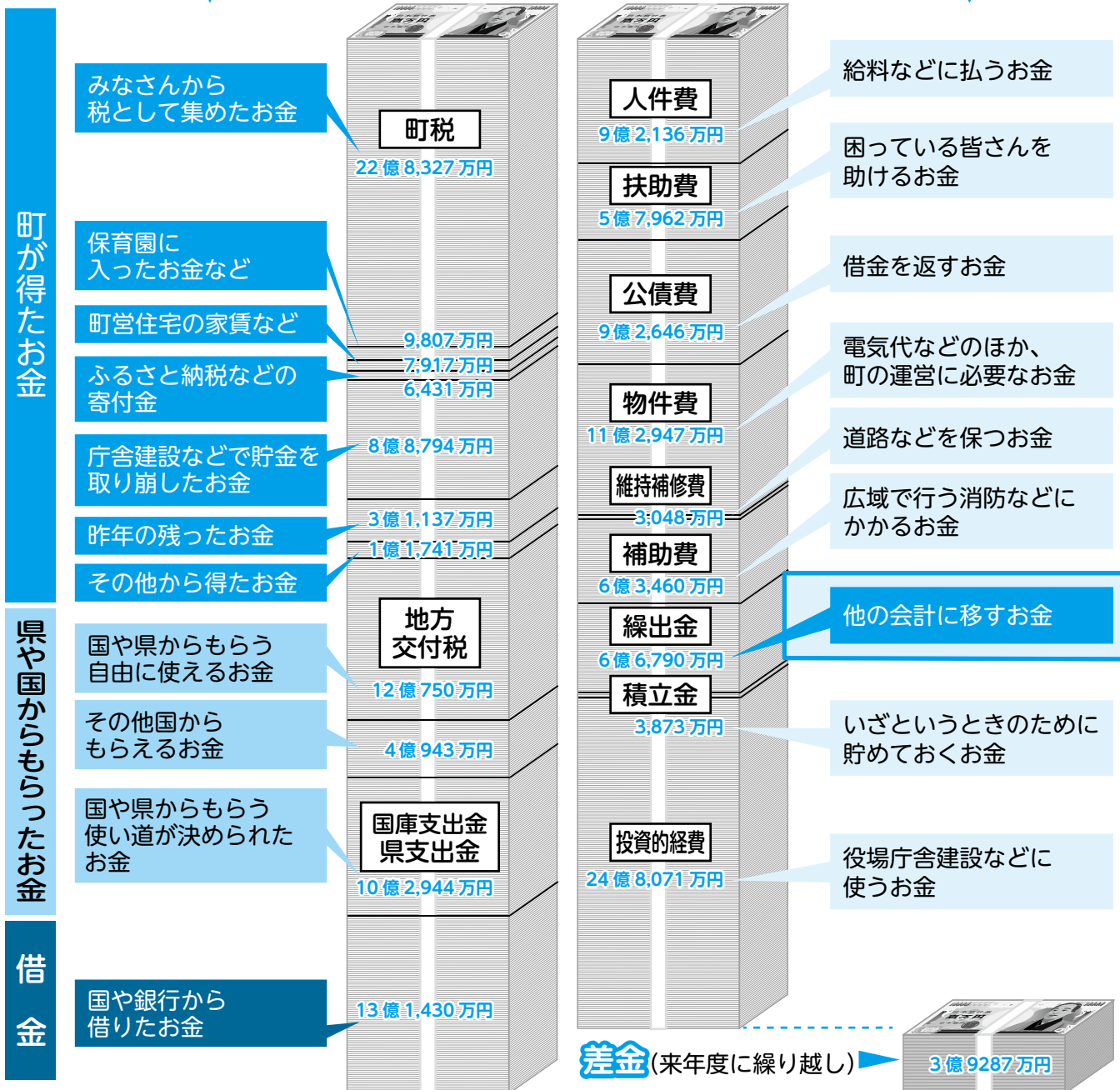
支出



平成29年度決算

みよたのお財布

入ってきたお金
78億220万円
一般会計
使ったお金
74億933万円



第3回
定例会

9月定例会は9月7日に招集され、9月20日までの14日間の会期で開催された。専決処分事項の報告1件、事件案1件、条例案3件、決算認定11件、予算案6件、人事案1件、報告1件で、町側から提出された議案23件を原案どおり承認・同意・可決・認定した。

質 疑

Q 29年度の一般廃棄物処理委託料が前年より172万5千円増加しているが要因は。

A 可燃ごみの処理経費とそれに伴う焼却灰の処分等にかかる経費で、処分量が29トン増加したことが要因である。

Q 29年度、小規模保育事業補助金220万円、保育所等整備補助金1千489万円で、保育施設整備を支援したが効果は。

A 4月に小規模保育所おひさまが開所し、3才未満児16名

を受け入れ、年度末には定員の19名になる予定である。



おひさま

また、たんぽぽ保育園では、定員を増やすための施設改修を行った。現在、39名を受け入れ、年度末には42名になる予定である。未満児保育の受入人数が増えた事により、保護者のニーズに対応する事が出来ている。

Q はつらつサポートー運営補助金105万7千円の増額の内容は。

A 介護予防教室での身体評価事業等への補助45万5千円と、サポーターのスキルアップ研修会への補助66万2千円である。

Q 公園施設整備工事291万6千円の内容は。

A 西軽井沢団地内の調整池の擁壁改修工事130万円、やまゆり公園の歩道の一部の改修工事130万円、雪窓公園の動物遊具の更新で30万円程を

予定している。



調整池の擁壁

伐採、整地などにかかる350万円は、小沼財産区の負担となるため、差し引いた額を用地購入費として支払う。

Q 都市再生整備計画事業費の補償金1千998万円の内容は。

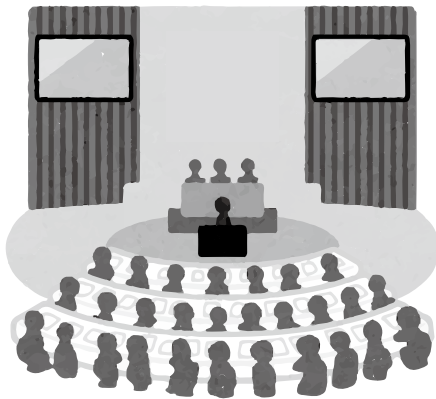
A 現役場庁舎北側の南浦3号線とかりん道路との交差点に設置をする信号機の補償料である。

Q 融雪剤倉庫建設工事350万円の増額と用地購入費1千102万円の内容は。

A 小沼財産区が所有している土地の取得に1千414万円が必要である。更地にする。既存の信号機から30m程南側に新しい交差点を計画している。

■全会一致の議案など（9月定例会は、すべての案件が全会一致でした。）

専決処分
専決処分事項の報告について（平成30年度御代田町一般会計補正予算第2号） 予定納税されていた法人町民税の還付金について、還付加算金が膨らまないよう支払ったもの。
条例の改正等
御代田町公告式条例の一部を改正する条例案について 役場新庁舎移転に伴い掲示場の表記を変更するもの。
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案について 職員駐車場の利用料を徴収するもの。
御代田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について 厚生労働省令で定めた基準の規制緩和に合わせるもの。
決算認定
平成29年度御代田町一般会計・各特別会計・企業会計の決算認定について 全体像：2～3ページ、質疑：4ページ、委員会審査：18～19ページ
予算
平成30年度御代田町一般会計・各特別会計補正予算案について 質疑：4ページ、委員会審査：18～19ページ
その他
御代田町農業委員会の委員の選任について 欠員となっている1名の農業委員の選定において、議会の同意を求めるもの。
財産の取得について 旧役場庁舎の職員駐車場用地 5,650㎡を取得するもの。



議会日誌

式典・町定例議会は除く

7月	8月
2日 佐久広域連合議会第2回定例会	31日 議会運営委員会
12日 議会全員協議会	8日 議会全員協議会
20日 広報広聴常任委員会	佐久広域連合議会運営委員会
23日 平成30年度町村議会議員研修会	北佐久郡議会議員研修会

訂正とお詫び

議会だより112号掲載の8ページ、内堀貴代志議員の一般質問の記事に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

5段目10行目
誤 町長不在時期が過去に2回あり、
正 副町長不在時期が過去に2回あり、

監査報告（抜粋）

泉 喜久男
笹沢 武

平成29年度決算審査の結論は「正確かつ適正であると認められた」

【決算審査の所見】

補助金等について

当町にもいろいろな補助金・交付金・助成金などがあります。これら補助金等については当然ながら交付目的があります。ところが同一の補助金等について時と場合によりその目的が異なることがあります。が如何なるものでしょうか。

例えば「そば」に関する補助金等の目的を耕作放棄地の解消にそばの生産に限っていたのが、レタスの連作障害対策になったり、農家の収入かさ上げというように、いろいろな使い分けられているようです。当初の制度創設時に曖昧な交付目的を定めるとその後

に乱が生じかねません。当初

に趣旨を明確にし、その後の環境の変化に応じ、交付目的に変更が必要になったら、その基礎である条例等も変更されるべきではないでしょうか。なお、これに関する要綱では「農業振興とそば振興」を同列に扱っていますが、憲法と個別法を対等に扱うようなものではありません。

また、補助金等の交付について事後的に交付目的に沿った効果があつたか否かチェックされるべきであります。

この補助金等については憲法第96条や地方自治法第232条の2にその根拠があり、さらに実務的には町の規則、即ち補助金等交付規則で基本原則を定めていま

す。補助金等は町から特定の行政上の目的のために私人になされる金銭的給付ですから、何らかの効果、即ち、

- ・地縁団体等の育成、発展に寄与しているか。
- ・町民の経済活動に活力を与えているか。
- ・町民によるまちづくりが促進されているか。
- ・行政運営に補完的效果があるか。
- ・公益上の必要性が認められるか。

等々について事後的にその効果について評価する必要があります。

しかし、財政の単年度主義から前年踏襲主義や画一的さらには繚絡的に陥つたりしていないでしょうか。補助金等の制度は当初目的と成果が薄れても、その廃止は困難で硬直化が避けられません。

『町民と議会の語る会』を開催します

町議会議員による議会報告と意見交換会です。

「議会がどのような取り組みをしているのか知りたい。」「まちづくりについて議員と話したい。」とお考えの皆さまはぜひお気軽にご参加ください。申し込みは不要です。



内 容

1. 議会報告

・議会の紹介と平成29年決算の内容報告

2. 意見交換会

テーマ「魅力あるまちづくりに向けて」まちづくりについてのご意見をお聞かせください。

日 時／11月10日(土)
午後3時～5時
場 所／役場大会議室

【問い合わせ先】 議会事務局 (32) 3128

選挙管理委員、補充員決まる 委員長に高山氏



市川 清 氏(平和台)



高山 千之 氏(馬瀬口)



砂連尾 佳司 氏(栄町)



村上 普士 氏(向原)

10月6日付けで任期満了になる選挙管理委員及び補充員の選挙は、定例会最終日の9月20日に行われ、議長による指名推選により、次の方々が当選された。任期は2022年10月6日までの4年間。
委員長に高山氏、職務代理に村上氏が選出された。

【補充員】

窪田 雄一 氏(塩野)

堀籠 幸子 氏(清万)

吉田 京子 氏(西軽井沢)

水谷 誠子 氏(向原)

表紙の写真
杉の子幼稚園運動会
9月23日、町民芝生広場にて、第44回杉の子幼稚園運動会が開催されました。秋晴れのもと、園児たちは一生懸命に自分の力を出してがんばりました。家族の皆さんは、ありったけの声を出して応援し、園児も家族も笑顔がいっぱいに弾けていました。写真は年長たんぽぽ組による「杉の子パレード」

人事案件

農業委員会委員

山本 みさ子氏を同意

馬瀬口区在住

任期は

平成30(2018)年

9月7日から

2020年7月19日まで



五味 高明 議員

県営住宅用地取得に関する協議状況は

譲渡価格が課題であり粘り強く取り組む

問 県営住宅用地取得に関する協議状況は怎么样了っているか。

答 建設水道課長

平成28年度から

県との協議を開始し、譲渡条件の内2件は除外されたが、譲渡価格は、県の財産処分のルールに従い、不動産鑑定価格によるとされたままで進展がない。

町が取得する上で一番の課題は譲渡価格である。住宅用地とするには相応の整備が必要で、今回の用地取得と整備費用は、想定される販売価格を大きく上回るため町の負担が大

きい。

このため、譲渡価格について考慮するよう折衝している。

問 これに対し町長は、どうしているか。

答 町長 この事業

により、県・町の人口増になり、特に県にとっては財産の有効活用になる。

町としては、引続き粘り強く取り組む。

問 譲渡価格下げが難しいければ、整備内容を変更してコストダウンをすれば、民間の活力を利用した開発を検討すると

か。しない事業は進まないが。

大きな区画割を民間に売却して住宅分譲を計画してもらうことを協議し、検討を進めている。

答 建設水道課長

現在の計画は、20区画を想定し、その中の道路も含めた金額である。別の売り方として、民間活力の活用、

町社協の健全経営について

現状は社協独自の努力を見守っていききたい

見守っていききたい

問 町にとって現在の社協の位置づけをどう捉えているか。

答 保健福祉課長

町からの委託事業や社協独自の事業を

展開し、行政では手の入らない部分を埋める役割を担っており、今後も地域福祉の推進を図るため、連携、協力していく。



県営住宅団地の航空写真

問 町社協が3期連続赤字であるが町長の見解は。また、次の打手は。

答 町長 赤字の原因は介護保険事業の減収が大きな要因であり、これは介護保険の一事業者として赤字を解消する努力を求

めていきたい。

支援は、理由のつく範囲で予算的な支援を強める。

問 今後、町社協をどうあるべきと考えるか。また、首長が社協会長を兼ねることをどう思うか。

答 町長 現在、社

協が赤字に転落しているという事実は重く受けとめており、社協からの要望に対し、その支援の予算措置を検討している。

町が介入し、改善することも必要かもしれないが、現状は社協独自の努力を見守っていききたい。



井田 理恵 議員

平成29年度決算の状況は 財政健全度は良好

問 当初予算と最終予算で大きく変動した事業とその成果の確認を。

答 企画財政課長

役場庁舎整備で687万円、職員駐車場取得で7千443万円の増額で、新たな環境でスタートができた。

旧メルシャン美術館インフォメーション棟の改修で7千660万円の補正は大きな成果が見込める。障害児通所給付費増額308万円は、施設利用者の支援につながっている。
小規模保育園改修工事220万円、保育所整備1千489万円増額は、未

満児保育事業で実績が出ている。交付金交付額の確定から道路事業、水路改修工事費へ増減補正した。大きな成果となっている。

答 監査委員の意見は、

予算計上に生かすべく注意していきたい。

問 2千万円程の不納欠損を抑える対応策は。

答 税務課長

町税の滞納額を減らすよう、町民の方々に町民の方々の説明責任を果たし自主納税率の向上を図っていききたい。

問 増加傾向の臨時職員の処遇は。

増加傾向の臨時職員の処遇は。

答 総務課長

再来年から施行の「会計年度任用職員制度」へ向け準備中だ。

同一労働同一賃金の考えのもと、臨時職員任用条件も変化する。

一般職138人の適正な人員配置と定数条例を越えないよう臨時職員

も必要最小限度で移行していきたい。

問 実質公債費率の上昇に伴う将来世代の負担は。

答 企画財政課長

前年比2.9ポイント悪化の8.9だが、早期財政健全化基準が25.0なので健全度は良好

まずは保育園から エアコン設置を

設置を前提に検討

問 保育園は夏休みが無い事情、保育者の労働環境も踏まえ速やかに整備すべきでは。

答 町民課長

こども達の安心安全な保育の実施のため設置を前提に検討する。

である。
後世代も同じ公債負担という観点と併せ、繰り上げ償還も継続検討していく。

龍神まつりの保存と継承へ 若手職員の力を

原点に帰り耳を傾ける

問 中止だった今年龍神まつりに代わり、舞いや太鼓、他が自主発表された。充実した運営に向け、関係者間の意見調整、新たなアイデア創出への力を期待するが。

答 産業経済課長

町民まつりの原点に帰り、適正規模での開催で様々な意見に



雨の中の姫龍の舞



市村千恵子 議員

熱中症対策でエアコン設置の考えは

将来的にはエアコン設置も検討

問 学校、児童館の現状とエアコン設置の考えは。

答 教育次長 平成25年には、北小学校に104台、26年には南小学校に134台、そして、今年度は中学校に149台の天井用の扇風機を設置した。

各教室にそれぞれ4台ずつ設置しており、扇風機の首が360度回転するため、教室全体に送風でき、学習環境を整える上で一定の効果があった。
エアコンの設置状況は、北小学校と南小学校には保健室とパソコン教室、中学校は保



設置された天井用扇風機

健室とパソコン教室、図書館、会議室で、今年度は音楽室にも設置した。将来的にはエアコンの設置も検討していかなければならないと認識している。

ブロック塀の総点検と撤去に補助金を独自の支援制度の必要性を検討

をされている。
大林児童館の既設の部屋は、今後の利用形態を検討していきたい。

問 通学路、幹線道路の調査状況は。

答 教育次長 通学路において保護者や住民の方からブロック塀に関する情報が寄せられ、所有者宅を訪問し、ブロック塀の状況を説明し、今後の対応についてお願いした。

建設水道課長 町内の主な幹線道路、109kmの沿線の設置状況を確認

態等を総合的に判断し必要かどうかも含めて検討していきたい。

建設水道課長 現在、町では購入をして貸し出す考えはない。
撤去補助については、現時点では、政府の受給者負担の軽減を

問 子ども医療費の受給者負担の見直しは。

答 保健福祉課長 子ども医療費を完全無料化にし、受給者負担額500円を町が負担する場合の試算額は、平成29年度実績に

より約1千200万円となり、給付額は1.35倍に

なる。今年4月に対象範囲を18歳年度末まで拡大したので、トータル1千369万円になる。

持続可能な制度とするために今回の御意見は今後の課題と考えている。



仁科 英一 議員

「ろくもん」を除き、全てを新造車輛に更新 しなの鉄道の新車輛導入の内容は

問 しなの鉄道の車輛更新の全体像は。

答 企画財政課長 平成31年から8

年間で、観光列車ろくもんを除く、現有の115系21編成56両を26編成52両の新造車輛に更新する。総事業費は車輛購入と車輛の内部改装などの合計で110億円程度である。

問 更新にあたって、中古車輛でなく新車輛導入になった理由は。

答 企画財政課長 中古車輛導入の検討も行なったが、消費電力が多いことや経



しなの鉄道車両

年劣化対応を試算すると、ランニングコストで新造車輛の方が圧倒的に有利になる。更新から32年間でコストが半分以下になるとのことである。

問 新型車輛のトイレの有無や、車輛内部のレイアウトは。

答 企画財政課長 全ての編成にトイレが有り、車イス対応の洋式タイプである。車輛内部レイアウトは2種類あり、一つは現行車輛と同じである。もう一つはライナー車輛で、普段は新幹線のように進行方向に座席が向いているが、座席を回転させロングシートにすることが可能な車輛である。

問 しなの鉄道から当町への支援要求内容は。

答 企画財政課長 要求内容は、総事業費110億円の内、国

3分の1、県6分の1、沿線市町6分の1を要請し、しなの鉄道は

残り3分の1を負擔する。 当町の負担は8年

間で約8千400万円となり、来年度は約1千70万円である。

町の教職員の時間外労働の実態は

小中学校合計で、教員一人当たり約50時間

問 町の小中学校の教職員の時間外労働の状況は。

答 教育次長 平成30年4月～5月の1カ月の1人当たりの実績は、平均約50時間である。なお小中学校別では、小学校約47時間、中学校約53時間である。

問 部活動の活動時間と状況は。

答 教育次長 1日の活動時間を朝と放課後で、合計3時間以内としている。水曜日の放課後とテスト前3日間は、ノー部活デーとしている。土曜・日曜の休日の活動時間は、半日か1日の活動としている。

問 今後の時間外労働の対応は。

答 教育次長 教職員の時間外労働の削減に繋がるよう町の費用で、学習支援員9名・講師4名を配置している。

また、毎月行なっている3校の校長会で、今後も労働時間や部活動の状況を把握し、対応していく。



内堀 喜代志 議員

町長の宴席での失態は 町の品位を傷つける

町を代表する人間として大変恥ずかしい状況

問 第2回浅麓水道
企業団定例会後

の懇親会の際、返礼の
万歳の指名役の茂木町
長が酒に酔い過ぎて、
それつが回らずに指名
が出来なかった。

小諸・佐久・軽井沢の
首長・議員が集まる席
で、町の品位を傷つけ
る行為であった。町長
はいかに考えるか。

答 町長 町を代表
する人間として

大変恥ずかしい状況
だった。ご迷惑をおか
けしました。大変申し
訳ありません。

問 過去にも町職員
の前で、宴席の

失態で深く反省し、酒
は控えるという発言が
あったにもかかわらず、
また繰り返す。

答 町長 過去にも

この問題では確
かにいろいろ失敗も
あったという事は事
実なので、それに対し
ては謙虚に反省してい
る。

問 ある宴席のお開
きの時、女性職

員にセクハラまがいの
事例があったと聞いて
いる。その点はいかが
か。

答 町長 やって良
いことと悪いこ

とは当然ありますの
で、36日24時間町長と
いう職にあつて、その
自覚をもたなければい
けないということとは
重々承知している。

問 そのようなこと
で来年2月の町

長選にどのような態度
で臨むか。

答 町長 町の首長
としての人間性

は判断基準になってい
く。12月議会中に進退
について明確にする。

ご指摘いただいている
問題も、首長としての
資格の一つの重要な要
素と受け止める。

問 4年前の平成26
年2月14日夕方

から雪が本格的に降
り、暗くなる時間には
大雪の可能性が高く
なった。その時は浅麓
水道の懇親会があつ
た。茂木町長のその晩
の行動は。

答 町長 佐久水道
の局長から声を
かけられて、2次会に
行った。

問 みんなが雪かき
で大騒ぎしてい

る段階で2次会出席は
いかがなものか。

答 町長 ご指摘の
とおりと思つて
いる。

問 どのような心構
えで災害に対応

したか。

答 町長 一番の問
題は危機管理意
識の低さにあつた。一
言でいえば反省点と理
解している。

問 宴席での失態や
緊急時の災害対

応の不手際の状況で、
町長の政治姿勢に大き
く疑問を感じている。

このような事実を鑑み
て来年2月の町長選に
出るのか問う。

答 町長 11年6カ
月、良い面も厳
しい指摘をもらう内容
もあつた。

12月定例会までに判
断する。

※他に、浅間国際
フォトフェスティバ
ルの現時点での評価
と町が期待する効果
についての質問をし
た。





荻原 謙一 議員

新体育館の建設は 10年を目途に重要な事業として取り組む

問 ヘルスパイオニアセンターの協議事項と実施計画の内容は。

答 教育次長 耐震診断、耐震工事に経費をかけるより、取り壊して、建て替える方向で検討を進めることにした。

実施年度を未定として、取り壊しの事業費のみを計画した。

問 事業費の額、体育館、倉庫の面積は。

答 教育次長 概算だが、約2千万円強という額を見込んだ。

建物全体は、約1千

m²、アリーナは、435m²、文化財を保管している倉庫の部分が約200m²である。

問 文化財の保管場所の進捗状況は。

答 教育次長 保管する文化財が増加することなどを総合的に考えると、新たな収蔵庫などを設けることも検討している状況である。

問 資料館(倉庫など)の建設について、建物の規模、場所はどこを予定しているのか。

答 教育次長 現状の倉庫以上の大

きさを想定して、場所については、旧庁舎の敷地内、エコール敷地内、その他幅広く検討中である。

問 建設検討委員会を立ち上げて、協議したらどうか。

答 教育次長 他の自治体で、体育館を建設したときの経過などを参考に、

議員から提案のあった建設検討委員会の立ち上げも含めて、今後調査検討をする。

町長 新体育館の建設に向けては、教育委員会内部での調査研究を十分にして、10年ぐらいの目途で、次の重要な事業として位置づけたい。



文化財の保管場所(ヘルス倉庫内)

選挙管理委員会の兼務を外したらどうか

町全体の組織再編の一環として考えていく

問 現在議会議務局は、監査委員事務局と選挙管理委員会事務局を兼任しているが、このうち選挙管理委員会の兼務を外したらどうか。

答 総務課長 選挙管理委員会事務局を総務課が所管している自治体が数多くあるということは承知しているが、当町の総務課の現状では不可能で

ある。

3事務局の再編については、町全体の組織再編の一環として考えていく必要があるが、当面の間は、これまで以上に議会議務局と総務課との連携を密にしながら、対応していきたいと考えている。



池田 るみ 議員

ICT環境整備計画の策定は

ICT活用教育アドバイザー

派遣事業を利用し検討

問 学校のICTの整備状況は。

答 教育次長 児童生徒の学習用コンピュータは、北小32台、南小38台、中学校41台である。

級へタブレット端末を北小4台、南小10台、中学校8台配備をした。

また、移動式電子黒板は、各学校に1台、無線LANの設置は、特別支援学級のみで、普通教室は設置してない。

ICT環境整備計画の策定と、来年度の整備予定は。

答 教育次長 現段階では策定していない。ICT活用教育アドバイザー

ICT活用教育アドバイザー派遣事業を利用し検討をする。

来年度の整備予定は、ハード面、ソフト面に関して現在検討をしている。

中学校パソコン教室



問 ICT活用教育アドバイザー派遣事業の利用はいつからか。

答 教育次長 現在申請をしており、ほぼ内定をいただける連絡があった。決定され次第、支援や助言をもらい、学校のICT教育の推進を進める。

問 ICTを活用した授業に向け、

教員の研修やICT支援員の利用は。

答 教育次長 県総合教育センター主催の研修を受講した教員が、校内研修を実施している。守管理を委託している業者に月に数回、授業の際に支援をしてもらっている。

問 福祉用具購入費など受領委任払い制度の導入を

今後とも現在の支給方法を継続したい

問 認知症初期集中支援チームの構成と支援の状況は。

答 保健福祉課長 国が定める研修を受講した保健師・社会福祉士・専門医の3名がチームとして活動し、29年度は2名、30年度は、延べ3名の支援を実施している。

問 町独自の人生手帳を作成し、65歳以上の高齢者に配布を。

答 保健福祉課長 生活介護支援サポーター養成講座で配布しているが、全員への配布は考えていない。

問 要介護認定者の福祉用具の購入費や住宅改修工事費へ立替不要の受領委任払い制度の導入を。

答 保健福祉課長 保健給付の適正化を図る観点から、今後も現在の支給方法を継続していきたい。



池田 健一郎 議員

町誌歴史編(下)の編纂の進み具合は極めて困難な状況にある

問 平成10年に歴史編(上)が発刊されて20年が経つ、発刊の中断、頓挫の理由は何か。

答 教育長 一番の理由は編纂委員の選任で、豊富な歴史的知識と編纂作業に専任で従事出来る人を見つけないのは極めて困難である。

問 困難なことは分かっている。町長は行政の長として、どのような手を打ってきたのか。

答 教育長 問題は、人材の確保、十分なスペースを持つ部屋の確保、数千万円に

及び予算の確保が出来ていないため現状、見通しが立たない。

問 問題を一年、二年と先送りにしてきた行政の怠慢ではないのか。

答 教育長 全体をまとめて本にするのは難しい状況である。校閲の完了した原稿はPDF化している。

問 職員の困難に対し、町長はアドバイスや指導をしたのか。

答 町長 編纂責任を負う方に直接お願いしたが、全体をまとめる事が出来なかった。

オンデマンド印刷で、小冊子にして安価で提供するよう検討している。



御代田町誌

手話言語に関する取り組みは手話通訳者の育成を図っている

問 町に聴覚障がいのある方は何人か。また、通訳資格者は何人いるか。

答 保健福祉課長 聴覚障がい者は90名。全国統一試験合格資格者は3名登録されている。

問 手話通訳の必要性は増加する。資格者の養成や関心を持つ若者に、勉強の機会が必要だと思うが町の取り組みは。

答 保健福祉課長 県は県民手話奉

仕員養成講座を各地で開催、佐久広域連合や障害者相談支援センターにおいても養成講座を開くなど、育成を図っている。

問 手話通訳者に対する報酬が町と社協で異なる。統一できないか

答 保健福祉課長 社協に登録されている方々が手話奉仕委員であれば、統一は出来ない。

問 手話は町職員にも必要とされて

いる。講習会の参加を公務扱いで出来ないか。

答 教育次長 公費補助で資格取得は可能だが、現在は制度化していない。



手話通訳



古越雄一郎 議員

地球温暖化による災害対策について

住民主導型災害対応の推進

問 浅間山を背に全体が火山灰地のわが町、一層の災害対応が必要と思うが。

答 総務課長 当町においても既に想定外の自然災害にも対応した地域防災計画を作成してある。

今後の運用実態や温暖化による極端な変化を踏まえながら適宜見直しを行っていききたい。

問 国・県・町も立派な内容のマニュアルを作成しているが、備え・減災についての取り組みなどは。

答 総務課長 ハード対策だけでは万能ではない。ソフト対策に

ついても、住民主導型災害対応の推進に取り組んでいる。

地域独自の具体的な避難方法を住民自らが考えて、いざというときに実施することにより、減災するための取り組みである。

問 異常ともいえる高温により、農地、農道の不具合が急増している。道路整備・農地管理についての町の考えと農業委員会の役割は。

答 産業経済課長 農道などの草刈、修復は古くから共同で各地で行われている。各区の実情に沿った取り組みをお願いしたい。



はみ出た草で道狭し

農地の雑草繁殖、病害虫の発生や、樹木・雑草がはみ出て周辺道路の通行に支障があるなど、お困りの場合は気軽に農業委員会までご相談いただきたい。

町及び農業委員会も定期的に農地パトロールを実施している。

町長の現状認識と今後の見解は

自然環境保全が町発展の原動力

問 11年6カ月間の行政運営において、実績と反省などを踏まえての町長自身の自己評価は。

答 町長 町民から何を付託された町長なのか、果たすべき役割は何なのか、原点に返って実績も検証したい。

3本柱の目標として、①豊かな自然環境のまち、②子育てしやすいまち、③健康で安心して暮らせるまち。

5つの役割として、①同和事業の廃止、②合併

確保が困難である。

問 町の将来像についての見解、特に推進すべきプロジェクトは。

答 町長 ほかの町には無い有利な点は何かを、いかに政策に生かしていくか。

浅間山麓の美しい自然環境というものをきちんと保全してきたことが、町の発展の原動力であった。

問 支障なく町政を推進できる環境か。

答 町長 都市を除いて、地方自治体はどこでも厳しい状況である。障害になっていることは、国による交付金や補助金の動向が非常に流動的であること、保健師などの専門職の

小さな町ではあるが有名な市町に接している立地条件、利便性をどのように町の発展に生かしていくかが、今後の課題だと思う。

—これからの町村議会のあり方—

町村議会議員研修会

伊那市 伊那文化会館 7月20日

平成30年度町村議会議員研修会が伊那市で開催され、約650名の参加があった。

演題は山梨学院大学江藤教授による「これからの町村議会のあり方」。

全国的に議員のなり手不足が深刻で、高知県大川村では議会を廃止して村民総会の設置が検討されている。

そのような状況を鑑みて、議員が地道な活動を行い、住民が議会を知り議員になりたい人を育成する事が大切と考えた。

また、地方分権一括法の施行により地域経営の自由度は高まり、様々な利害を調整し方向づけること、まさに政治が重要となってきた。

議員と首長を直接選挙する二元代表制を採用していることを考慮すれば、首長

と異なる立場から議会が意思表示することは大事である。

今後の地域経営では、議会を重要な討議空間と位置付ける必要がある。

住民参加も含めて討議し、決定する空間を創り出すことが求められる。

内堀 喜代志



—議論と対話でつくる政策議会—

北佐久郡議会議員研修会

軽井沢町 くつかけテラス 7月23日

龍谷大学土山教授を講師に迎え、軽井沢町・立科町・御代田町・北佐久郡議会議員研修会が開催された。

演題は、「議論と対話でつくる政策議会」であった。議会の役割は、自治体のへ政策・制度の制御に責任ある政策主体としてかわる「政策議会」の実現と、長・行政に対する監視機能と政策立案機能を通じて、住民にとってよりよい政策制度の実現を目指すことが重要であると述べられた。

当町の議会も開かれた議会を目指して、平成28年から町民と議会の語る会を開催している。

これを有意義なものにするには、「目的」設定と「手段」の模索が重要である。

多様な住民の声を議会に反映させるため、参加者が発言しやすくなり、成果を

持ち帰ってもらうための手段を学ぶことが出来た。

今後の報告会に生かしていきたい。

政策議会の実現には、政策プロセスを組織的・地域的にいかに構築するかが重要な課題だと認識させられた有意義な研修会だった。

荻原 謙一



9月定例会の傍聴者は40人

議会傍聴 においでください

傍聴は、役場3階の議会事務局にある受付簿に住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次の定例会は12月予定です



(審議内容の一部を掲載しました。)

はつらつサポーターの スキルアップを図りたい

総務福祉文教

町税条例一部改正

駐車場の維持管理協力金、月額500円は、職員への周知は徹底できているか。また、臨時職員の利用は、
A 職員組合を通じて協議を行い、承知をいただいている。臨時職員も以前と同様利用できる。

平成29年度一般会計決算認定

役場庁舎整備経費の工事費の合計金額はいくらか。

敷地造成工事施工監理	43万円
敷地造成工事	4千303万円
庁舎基本設計業務	1千944万円
実施設計業務	5千832万円
庁舎建設工事施工監理	2千170万円
庁舎建設工事	21億2千241万円
合計	22億6千535万円である。

土石流災害発生予兆システム導入委託料とあるが、システムの利用状況は、

A 極地的豪雨が発生する恐れがある際などに日常的にインターネット回線を利用し監視を行っている。
 昨年度は比較的、極地的豪雨の

発生が少なく、システムの利用頻度もそれほど高くはなかったが、昨年10月22日に台風21号が接近した際に、衆議院選挙の事務で職員が手薄になっていたが、インターネット経由で閲覧ができるため、職員のスマートフォンから監視を行なった。



土石流災害発生予兆システム

平成29年度国保会計決算認定

保険税率の見直しなど、どのような検討を行っているか。

A 多子世帯の負担軽減については、国や県から詳しい情報がなく、現時点での検討は難しいが、4方式のなかで応益応能部分があり、資産割を下げた場合に他に

どの部分を下げるとかなど、全体のバランスを考えたうえで検討したい。

平成30年度一般会計補正予算

はつらつサポーター運営補助金について、補正予算での対応の理由は。

A はつらつサポーターのスキルアップの要望があり、研修に参加するための費用を補助したい。
 また、はつらつサポーターが担う介護予防教室の評価事業について、県の元気づくり支援金の申請を行い、採択となったため、事業費の5分の4が県補助となり、残りの分を町が補助する。



はつらつサポーターによる介護予防教室



委

員

会

公立保育園の職場環境の課題に取り組む

町民建設経済

平成29年度一般会計決算認定

町営住宅使用料滞納について、入居の際の保証人へ請求と納付状況は。

A 3か月以上滞納があると、本人と連帯保証人へ連絡し、保証人から納付もある。

有害鳥獣の種類別捕獲頭数は。

また、猟友会会員の現状は。

A 29年度はニホンシカ112頭、イノシシ21頭、ツキノワグマ9頭で、カラスも年間100羽の許可を取り80〜90羽を捕獲した。

会員減少が課題である。30年度には、免許申請手数料を2名に補助している。



イノシシの捕獲

保育料徴収未納の対応状況は。
A 督促状を郵送しているが、手渡しも検討中である。

保育園の第三者評価の結果は。

A 不審者対策へのフェンスの指摘、保護者からの意見などに対する対応と安全管理について改善が必要とされた。



午後の保育風景

歩行動揺訪問計測委託の目的と効果、予算計上していないが会計処理はどうしたか。

A 年長児の歩行育成への試行で、効果は不明だ。前理事者の指示で、認められる範囲で流用した。

保育士で退職するのは若手か。また、現場の人的環境整備は。

A 若手が退職している。職場環境の課題に取り組む。

松くい虫被害木への補助対象は周知しているか。

A 森林整備地域活用支援交付金と町単独事業での伐倒もあるので周知に努める。

オンラインガルトンは決算上は110万円の利益だが、今後指定管理へ移行の予定。

A 現在、施設管理を委託している人に将来的には委託したい。

創業支援、就労支援の継続は。

A 商工会で経産省の補助金を使い10月に3回セミナーを開催する。

平成29年度御代田小沼水道事業会計決算認定

有収水量が減っているが漏水しているのか。

A 29年度は西軽井沢地区の調査を行った。修繕し有収率を69.5%にした。今後も修繕で改善したい。

成人式実行委員長



柳澤 陸さん
(広戸)

今回、成人式実行委員会に参加し、私は実行委員長をやらせていただきました。第1回実行委員会を開いた時点では、実行委員が3名しか集まっておらず、最初に取り組んだことは、実行委員の勧誘活動でした。地元に残っている同級生が少なかつたため、集めるのが大変でしたが、実行委員7名と受付係4名の計11名、集めることができました。



教育委員会の皆さまのおかげで無事、成人式を迎えることができました。成人式当日には、懐かしい仲間たちと久しぶりに再会し、学生の頃の様々な思い出話に盛り上がりました。また、会う機会が少ない仲間とも話せることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。これから社会に出る人や、もうすでに社会に出ている人など、それぞれ立場は違いますが、これからは大人として良識のある行動をとり、自分の意見を言える大人になりたいです。

みんなの声

成人式実行委員



吉田 安里紗さん
(一里塚)

私は今年成人を迎えましたが、初めはなかなか自覚が持てずに行きました。しかし、成人式に参加させていただくことで改めて自覚を持つことができました。成人を迎えたということは、今までとは違い、自ら考え、責任を持った行動をしなければならないとは思いますが、私はまだ学校へ通っているため、社会に出ています。しかし、学生だからと考えるのではなく、学生生活の中でも、当たり前前のことはたくさ



んあります。それら一つひとつを確実にこなしていき、社会へ出てからも行なっていくことができるようにしていきたいと思えます。最後に、今ある私は、自分自身で作り上げてきたものではありません。両親や地域の方々、また、小学校・中学校・高校でお世話になった先生方がいたから今の私があります。感謝を忘れず、これからの人生を歩んでいきたいです。

編集後記

今夏の異常気象・自然災害は日本列島の至る所に、その惨禍・爪痕を残しております。

連日わたる猛暑・酷暑は危険や災害が日常の中にあることを感じさせるものでした。身近な自然にあつては、水田にオタマジャクシが大量に発生し、そのためか毎年苦勞しているドロオイムシ払いを初めてやりませんでした。

スズメバチ・トンボ・蝶など昆虫類が異常に少なく、外来種ばかり目立つ路肩・河原に平穩を願いながら静かな秋を眺めています。

広報広聴常任委員会

- 委員長 池田 るみ
- 副委員長 市村千恵子
- 委員 五味 高明
- 井田 理恵
- 古越雄一郎
- 茂木 重幸
- 荻原 謙一
- 内堀喜代志

茂木 重幸